

斬る (1968)

メディア 映画

ジャンル 時代劇 アクション

製作国 日本

色彩 B&W

時間 114分

初公開日 1968/06/22

【解説】

山本周五郎の短編小説『砦山の十七日』を、岡本喜八が村尾昭とともにシナリオ化し監督した時代劇。他の映画では重厚な演技を見せる仲代達矢と高橋悦史による、ユーモラスな掛け合いが魅力。

江戸時代の上州に、上司を切り捨てて武士を捨てた弥源太と、百姓をやめ田畑を売って武士になろうとする半次郎が現れる。藩主の圧政に不満を抱く七人の青年武士が城代家老を斬り、国境の砦山に逃げ延びてきた。弥源太は七人の若者に同調するが、半次郎は次席家老が募る浪人隊に加わる。こうして二人は敵味方に分かれることになった。だが次席家老こそ藩の乗っ取りを企む悪人であることが判明、弥源太が囚われてしまう。弥源太の危機を救ったのは、次席家老の正体を知った半次郎だった。

【クレジット】

監督 岡本喜八

製作 田中友幸

原案 山本周五郎

脚本 岡本喜八
村尾昭

撮影 西垣六郎

美術 阿久根巖

編集 黒岩義民

音楽 佐藤勝

殺陣 久世竜

出演	仲代達矢	Tatsuya Nakadai	兵頭弥源太
	高橋悦史		田畑半次郎
	中村敦夫		笈川哲太郎
	久保明		竹井紋之助
	久野征四郎		正高大次郎
	中丸忠雄		庄田孫兵衛
	橋本功		藤井功之助
	浜田晃		西村伝蔵
	地井武男		吉田弥平次
	土屋嘉男		松尾新六
	星由里子		千乃
	岸田森		荒尾十郎太
	今福正雄		道信和尚
	樋浦勉		武助
	香川良介		溝口佐仲

神山繁
東野英治郎
黒部進
天本英世
田村奈巳
鈴木えみ子
小川安三
久世竜
鈴木治夫
関田裕
伊吹新
長谷川弘
中山豊
当銀長太郎
大前亘

鮎沢多宮
森内兵庫
鮎沢金三郎
島田源太夫
よう
トミ
喜助
大森帯刀
番所の番頭
鮎沢の家臣
重傷の浪人
重傷の浪人
浪人
浪人
番人